

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2025年度)

専門分野区分	経営学	科目名	プロジェクトマネジメント				科目コード	T1890B1		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	2 単位		
担当教員名	池田 大輔	履修グループ	2E(BI)				授業方法	講義		
実務経験の内容	資格スクールにおいて、MS-Office (Word・Excel・PowerPoint・Access)を利用した顧客名簿の管理業務全般、及び教材の編集業務に携わった。その経験を活かし、ビジネスシーンに必要な知識やスキルを実践的に講義する。									
学習一般目標	プロジェクトの基礎を修得し、現状のプロジェクトマネジメントに適応し得る知識と能力を身につけることを目標とする。									
授業の概要および学習上の助言	さまざまなプロジェクト組織を日常的に結成して業務を遂行していく現代の企業において、組織を効果的に運営するためには、プロジェクトマネジャーの権限と役割が大きく関与する。よって、プロジェクト組織の基礎を理解したうえで、実際のプロジェクトマネジメントの場面を想定しながら、どのように行い、どのような役割を果たすのかを説明していく。									
教科書および参考書	「誰でもチームをゴールに導ける！ プロジェクトリーダー 実践教本」日本実業出版社、「プロジェクト・マネジメント 実践ワークブック」秀和システム(プリント配布)									
履修に必要な予備知識や技能	日頃から、新聞や経済雑誌など読む習慣を身につけ、世の中の動向に関心を持って欲しい。									
使用機器										
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)		学生が到達すべき行動目標							
	1		プロジェクトの基礎用語を説明することができる。							
	1/3		プロジェクトにおける実践的な内容を理解することができる。							
	2		プロジェクトの知識を活用して問題に対応することができる。							
	3/5		講義に意欲を持って取り組むことができる。							
	5		基礎的な知識を修得することから、より高度な知識への興味、関心を喚起できる。							
達成度評価	評価方法		試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	学部DP	1.知識・理解	30							30
		2.思考・判断	30							30
		3.態度							20	20
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
	総合評価割合		60						40	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								
試験		定期試験期間中に筆記試験を実施する。								
小テスト										

レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に評価する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	プロジェクトマネジメントとは	講義	特になし。
第2回	プロジェクトの基本計画書・5W1H・制約思考	講義	適宜指示する。
第3回	プロジェクトマネジメントのリーダーシップ・オープンネス	講義	適宜指示する。
第4回	プロジェクトの目標設定・立ち上げと計画	講義	適宜指示する。
第5回	プロジェクトマネジメントの適合条件理論・コンピタンスとコミットメント・ステークホルダー管理表	講義	適宜指示する。
第6回	プロジェクトマネジメントのシナジーチーム・行動と思考・権限	講義	適宜指示する。
第7回	プロジェクトのゴール設定・プロジェクトマネジメントの相互補完と組成と育成	講義	適宜指示する。
第8回	プロジェクトの期待マネジメント・ガンチャート・ストレッチ目標・マイルストーン	講義	適宜指示する。
第9回	プロジェクトの5大要素・進捗と予防措置・レポーティング	講義	適宜指示する。
第10回	プロジェクトのクリティカルパス・コストやリスクの進捗管理・カオスの縁	講義	適宜指示する。
第11回	プロジェクトマネジメントのコミュニケーションモデル・ワーキングアグリーメント	講義	適宜指示する。
第12回	プロジェクトの定量評価と定性評価・委任・反発マネジメント	講義	適宜指示する。
第13回	プロジェクトマネジメントの二要因理論・役割・モチベーション	講義	適宜指示する。
第14回	課題解決型授業1	遠隔授業 実施時期:5期	適宜指示する。
第15回	課題解決型授業2	遠隔授業 実施時期:7期	適宜指示する。